

平成29年10月11日

合同防災訓練講評

今年も2年生が神戸で震災の勉強をしてきました。お礼状の中にこんながありました。

「神戸で地震が起きて、もう22年が経ちましたが、つい最近のこのように思いました。僕は数日前のことでも忘れてしまうのに、22年前の出来事を細かく話してくださいました。それは、地震がどれだけ怖いかを表していると思いました。教えていただいたことを忘れず、地震が起きたら、しっかり動きたいと思えます。」

岡山県は災害が少なく、本当に怖い思いをすることがありません。しかし、東南海地震は近い将来、必ず発生すると言われていています。年に一度の合同防災訓練は、災害のことを考え、具体的な動き方を確認するととても大切な訓練だと思っています。

また、2年生は先日、チャレンジワークに行って、色々な経験をしてきましたが、こんなお礼状がありました。

「仕事は一人ではできず、みんながいるからこそ協力してできることだと思えました。これからの生活に生かし、協力し合っていきたいと思えます。」

いつもお話しすることですが、阪神淡路でも東日本でも熊本でも地震が発生した時、中学生が大活躍をしました。災害が発生した時、皆さんも伊里地区の貴重な戦力として、活躍が期待されています。しっかり地域の方々と協力していきましょう。

また、今日も東備消防署、市役所危機管理課、そして区長さんを始めとする地域の方々など、たくさんの方々の御協力をいただいて、実施することができました。特に東備消防署の方々には、具体的な実習の御指導をいただき、とても充実した訓練になりました。改めて御礼申し上げたいと思えます。